

中小機構のIT関連支援策

IT経営サポートセンター 支援者向け説明資料

2024年2月

独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部

はじめに

- 「IT経営サポートセンター」とは、中小企業・小規模事業者のIT利活用や導入について気軽に相談できるオンライン面談サービスです。
- 実務経験豊富なIT経営の専門家が、中小企業・小規模事業者のIT化にまつわるさまざまなお悩み・お困りごとの解決に向けてサポートします。
- ご相談は、無料・1回60分・オンライン形式です(事前予約制)
- 「IT化の進め方がわからない」「自社にあったITツールを探したい」「もっと有効活用したい」など、事業者の状況に応じて課題の整理や実践的なアドバイス・情報提供などを行います。

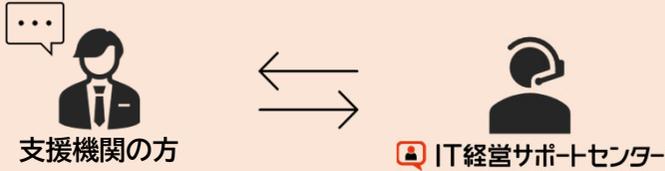
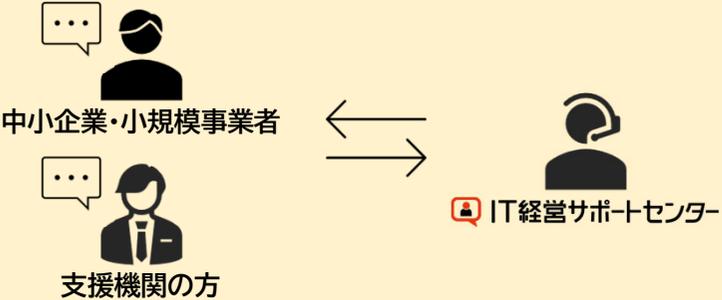
実務経験豊富なITの専門家が
オンライン面談でお悩みを解決します。



- ✓ 無料
- ✓ オンライン
- ✓ 60分
- ✓ 予約制

「IT経営サポートセンター」は、中小企業・小規模事業者の経営支援に取り組む支援機関の方もご利用いただけます

支援機関の方のご利用イメージ

直接相談	同席相談
<ul style="list-style-type: none">支援先企業からITについて相談があったが、自分がITに詳しくないので回答に困っているシステム導入で悩んでいる支援企業がいたので専門家のアドバイスや導入事例を参考にしたい	<ul style="list-style-type: none">支援先企業のお悩みについて、課題整理や方針の策定を一緒に確認したい専門家からの提案を参考に継続的な伴走支援に役立てたい
 <p>支援機関の方</p> <p>IT経営サポートセンター</p> <p>支援機関の方のお悩み・お困りごとに対して直接サポート</p>	 <p>中小企業・小規模事業者</p> <p>支援機関の方</p> <p>IT経営サポートセンター</p> <p>事業者のお悩み・お困りごとに対して支援機関の方と一緒にサポート</p>

- 中小企業のIT導入広めるためには、支援機関の皆様のお力が必要です。
- IT経営サポートセンターをご利用いただいた支援先企業様に効果的なフォローを行っていただくためにも、相談の場で一緒にお話を聞いていただき、その後の導入に向けてのサポートを是非お願いしたいと考えております。
- 「同席相談」の形でIT専門家のアドバイス内容を聞くことや、アドバイスを一緒に行っていただくことにより、支援機関職員のIT化支援力向上にも寄与したいと考えております。

利用申込方法



- ① IT経営サポートセンターのウェブサイトから「相談予約(カレンダーから日時を選ぶ)」をクリックします。予約枠の空き状況が表示されます。希望日時を選択してください。
- ② 予約フォームが開きます。必要情報を入力し、「確認」ボタンをクリックしてください。予約内容をご確認いただき「予約」ボタンをクリックすると「予約受付完了」となります。
- ③ 「予約受付メール」を受信後、予約日時、Zoom URLなどをご確認ください。
- ④ 相談当日、Zoom URLよりご参加ください。

IT経営サポートセンター

検索

<https://it-sodan.smrj.go.jp/>



ご相談の流れ

初回ご利用時の基本パターン（60分）

相談開始

受信した「予約受付メール」に記載されている Zoom URL でオンライン相談を開始

ヒアリング

- ・現状の課題やお悩み、業務の内容や流れ、IT利用状況などについて確認し、事業者の経営状況や経営課題等を把握
- ・自社のIT利活用・導入に関する課題等の確認

IT経営サポートセンター



30分
程度

問題・課題整理

- ・「IT戦略ナビ」を用いて課題や取り組みたいことなどを整理・見える化（IT戦略マップ・導入プランの作成）
- ・具体的なお困りごとがある場合は、個別アドバイスを中心に実施

IT戦略ナビ



5分で見える化 / DX推進の第一歩！
WEB上でカンタンにIT戦略マップ・導入プランが作成できます。

IT化方針の検討・解決策の提示

- ・「IT戦略マップ」や「IT導入プラン」をもとに、IT化方針についてディスカッション・検討
- ・「ここからアプリ」等を参考に課題解決に適したITソリューションを提案



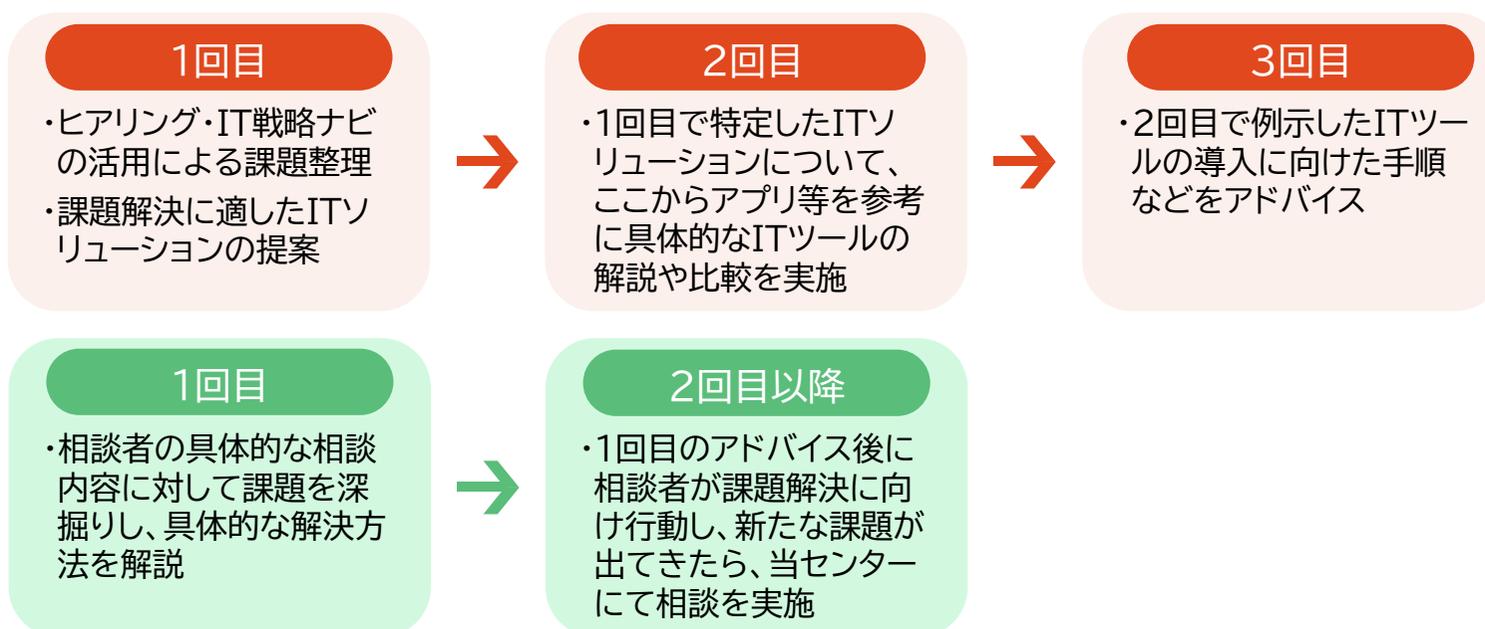
APP ここからアプリ
Coco APP

相談終了

- ・ご要望に応じて、次回の相談予約受付やほかのIT導入支援メニューなどをご案内

IT経営サポートセンターの複数回利用のイメージ

- IT経営サポートセンターは、利用回数の制限はございません。中小企業の相談内容や、問題・課題の整理状況、IT化の検討段階に応じて、**複数回でもご相談に応じます**。
- 例えば、IT活用の必要は感じているものの、「何をどう取り組んだら良いか分からない」という中小企業でも、複数回の相談を通じて、
→「(課題解決にITが役立つことは分かったが)ITソリューションが分からない(知らない)」
→「(ITソリューションがあることは分かったが)どのITツールが良いのか選べない」「導入効果が分からない」
→「(導入すべきITツールは絞り込めたが)導入の手順が分からない」
というように、**課題解決に向けた次のステップに進めるような支援をいたします**。
- 課題や相談内容が明確なご相談は、必要な時だけITセンターを活用いただくといった利用方法も可能です。



支援事例①

企業情報

【業種】自動車整備業 【エリア】中国 【従業員数】66人

課題やお悩み

- リピーター維持と新規客獲得も重要。
- 新規採用が困難なので、既存人員の生産性UP重要
- 紙が多い(売上傳票、社内勤怠管理、一部請求書)ペーパーレス化したい。
- 過去にITベンダー4社から話を聞いているが、最適なやり方が判断できずにいる。
- IT導入補助金採択されたが、見合わせた。

相談・アドバイス

1回目

- 「IT戦略マップ」で課題を整理し、以下のITツールを提案
 - ① 販売管理システム(既存システム活用)
 - ② BIツール
 - ③ OCR/AI-OCR(手書き書類のデジタル化)
 - ④ 勤怠管理システム(給与システムとの連携)

2回目

- 販売管理システム(既存システム活用)について、深くヒアリングし、オプションや連携サービス活用をアドバイス

3回目

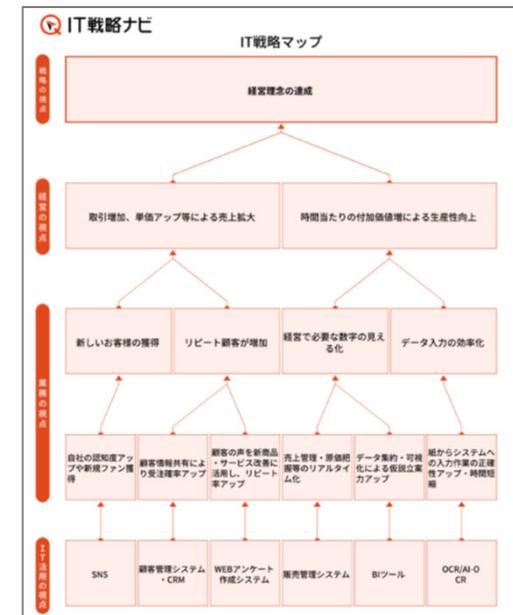
- 勤怠管理ソフト導入の投資判断になる“働き方改革”や“周辺業務連携による生産性向上”を解説
- 現状に合った機能・価格のクラウドサービスを紹介の上、お試し版で自社の管理にあっているものを探すこと等をアドバイス

相談を終えて(コメント)

- 業務内容ごとに色々な視点で、利用できそうなシステムを聞くことができた。
- 既存の販売管理システム(整備ソフト)に関して、より活用するための具体的な話が出来た。
- 勤怠管理のソフト(アプリ)導入から運用までの流れや、問題点を知ることができた。

同席した支援機関のコメント

• 「IT戦略ナビ」で、専門家からの説明をもらいながら課題を整理したり、解決策を見つけられるのは、取引先にとっても心理的な負担が少なく行えるのでとても良いと思う。
 • 対面もよいが、今回のようにオンラインの方が取引先も気軽に話せる雰囲気だった。



支援事例②

企業情報 【業種】製造・卸売業 【エリア】近畿 【従業員数】70人

課題やお悩み

- 拠点が複数あり、営業活動の強化や効率化を図りたい
- 営業部員の増員もしたいが、人材確保が難しい
- ITツールは、段階的に導入してきたが、社内で十分に活用できていないと感じている
- 新しく導入予定のメール配信システムについての運用方法が知りたい

相談・アドバイス

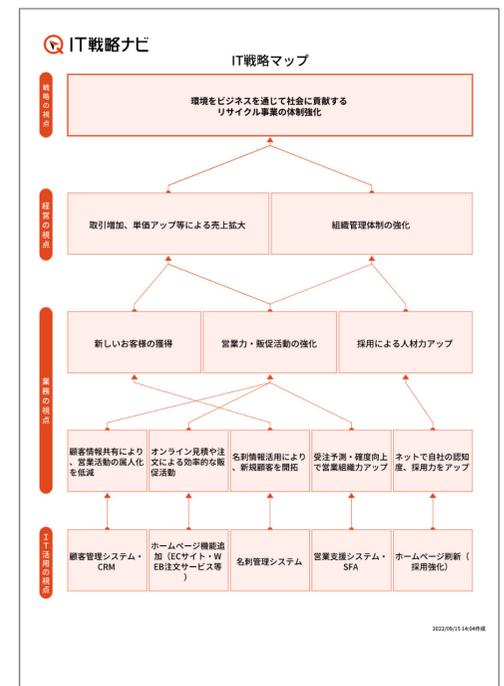
- 1回目
- 「IT戦略マップ」で課題を整理し、以下のITツールについて提案と解説を行った。一部導入済みITツールがあり、利活用状況を確認しアドバイスした
 - ① 顧客管理システム・CRM
 - ② 名刺管理システム
 - ③ 営業支援システム・SFA
 - ④ ホームページ機能追加
 - ⑤ ホームページ刷新(採用強化)
- 2回目
- 営業担当者も同席し、メール配信システムの運用やウェブマーケティングの改善点についてアドバイスした
 - 今後のデジタル化推進にあたっては、経営方針や戦略と整合する全体最適の視点で取り組むことの重要性を確認した

相談を終えて(コメント)

- 新しい(知らなかった)ITツール導入のきっかけになった
- 製品カタログやホームページの管理・活用について参考になった

同席した支援機関のコメント

- 1時間という時間に対してかなり充実した内容で、お客様の課題等を引き出していただけました
- ITツールの活用から一歩踏み込んだ、マーケティング戦略等のアドバイスがあり、相談企業も具体的な動きがとりやすくなったと思う

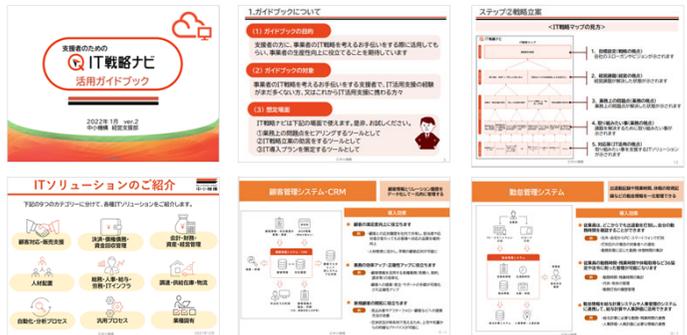


よくあるご質問

<p>Q1. どのようなことが相談できますか。</p>	<p>A1. 「もやもや」型の例</p> <ul style="list-style-type: none">IT利活用の必要は感じているが、何をどう取り組んだら良いかわからない。まずは専門家に相談し、話の中で解決策をみつけたい。特に顧客管理や受発注に不便を感じている。 <p>「ハッキリ」型の例</p> <ul style="list-style-type: none">自社で販売管理システムと会計システムを利用中だが、連携ができていないので、その点について相談したい。受発注システムの導入(あるいは活用)について詳しく聞きたい。自分でシステムについていろいろ調べたが、どれが自社に合っているかわからないので専門家のアドバイスがほしい。 <p>なお、下記のようなご相談には対応できません。</p> <ul style="list-style-type: none">補助金・助成金等の申請支援PCや通信ネットワークの障害・故障に関するご相談特定のソフトウェア製品の操作方法やITサービスの詳細仕様に関する質問特定のハードウェア・ソフトウェア製品、インターネットサービスプロバイダやITサービスの評価、推奨ITベンダーの斡旋
<p>Q2. オンライン面談はどのように行うのですか。</p>	<p>A2. オンライン会議システムの「Zoom(ズーム)」を使用します。WiFi環境など高速通信が可能な電波の良い環境でご参加ください。ご利用環境により音声や画像が途切れる場合がございます。オンライン面談時に発生した通信料は相談者負担となります。</p>
<p>Q3. どのような専門家が対応するのですか。</p>	<p>A3. ITコーディネータ、IT化支援経験のある方など、IT関連の実務経験を有する専門家が対応します。</p>
<p>Q4. 2回目以降の継続利用を希望した場合、同じ専門家を指名することはできますか。</p>	<p>A4. 申込フォーム上で専門家の指定はできませんが、相談時に次回の予約受付を行うことは可能です。2回目以降の希望する日程を直接専門家へお伝えください。空き状況などと照らして調整をいたします。</p>
<p>Q5. 支援機関自体や支援者自身のIT化についても相談可能ですか。</p>	<p>A5. 当センターでは、中小企業・小規模事業者に対する直接支援、間接支援の両面でIT化をサポートすることを方針としています。そのため、支援機関自体のIT化に向けた相談にはご利用いただけません。</p>

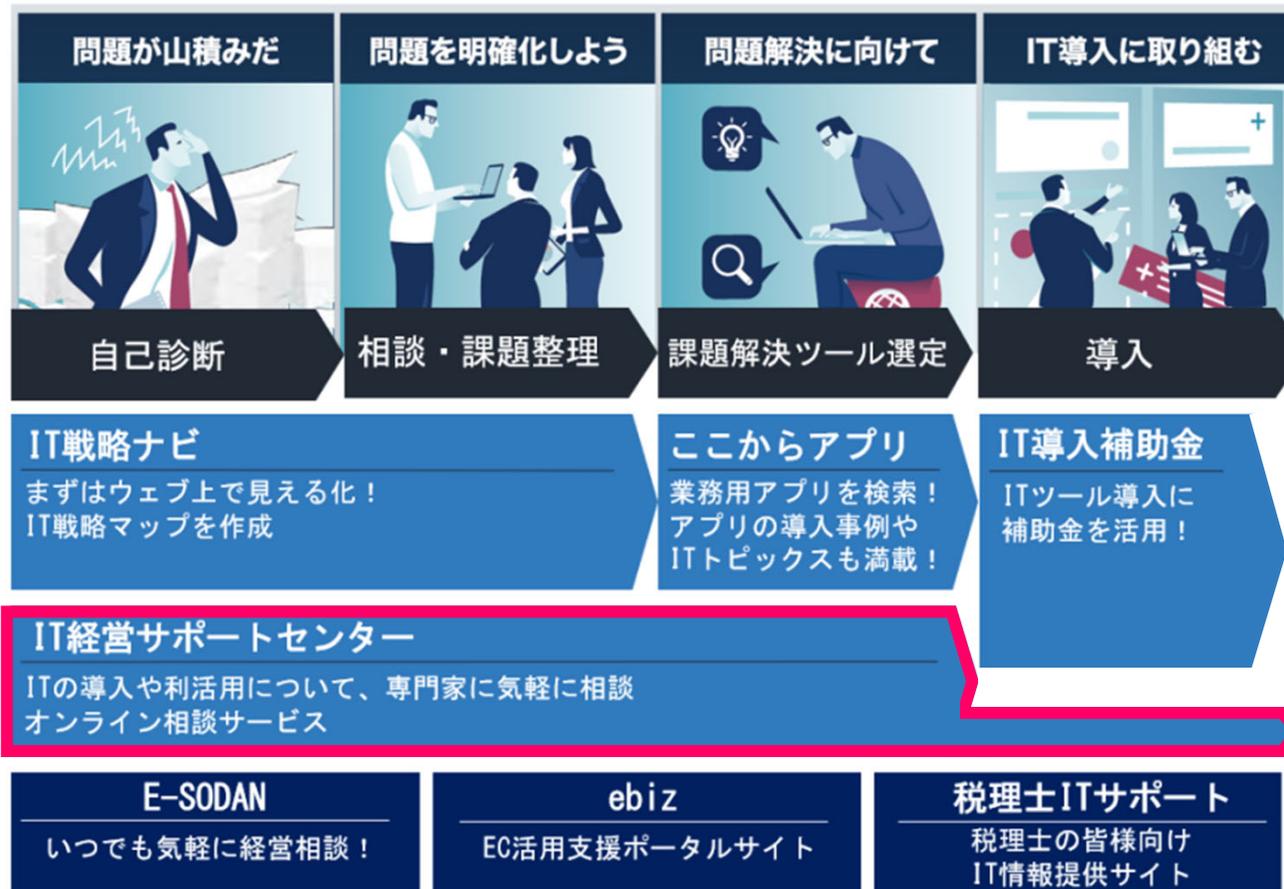
参考 | 支援者向けコンテンツ



<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自社の経営課題・業務課題と、課題解決につながるITソリューションを整理したIT戦略マップを作成することができる IT導入の理由と期待される効果を可視化でき、社内における意思統一ツールとして課題解決の方針を共有できる 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の業務分野に適したビジネス用アプリをご紹介します 実際にITツールを導入された事業者の方の導入事例や、分野別の特集記事、支援事例やミニ講座動画等、お役立ち情報を配信
<p>解説動画</p>	<p>支援ロールプレイング編 IT戦略ナビガイドブック解説編</p>	<p>IT導入支援動画【支援機関編】 IT導入支援動画【金融機関編】 IT支援力アップミニ講座【ココからアプリの使い方】</p>
<p>サポートブック *PDFダウンロード可</p>	<p>IT戦略ナビ ガイドブック ITソリューション解説書</p> 	<p>支援者のためのビジネス用アプリ導入支援サポートブック(改訂 第3版)</p> 
<p>URL</p>	<p>https://it-map.smrj.go.jp/ https://it-map.smrj.go.jp/supporter/</p>	<p>https://ittools.smrj.go.jp/ https://ittools.smrj.go.jp/supporter/</p>

参考 | ITプラットフォーム事業

- ITプラットフォームでは、中小企業の皆様の経営課題をIT導入により解決に導くためのIT化支援策を総合的に発信しています。
- 経営課題や業務課題の整理から課題解決ツールの選定、導入、日常の情報収集まで各段階でご活用いただける7つの支援策をご用意しています。



ITプラットフォーム

検索

<https://www.smrj.go.jp/tool/itpf/>



IT化支援 アドバイザー派遣 事業 (仮称)

「IT経営サポートセンター」による
オンライン面談後、
専門家が事業者様のIT導入に向けた取り組みを
現地サポート！

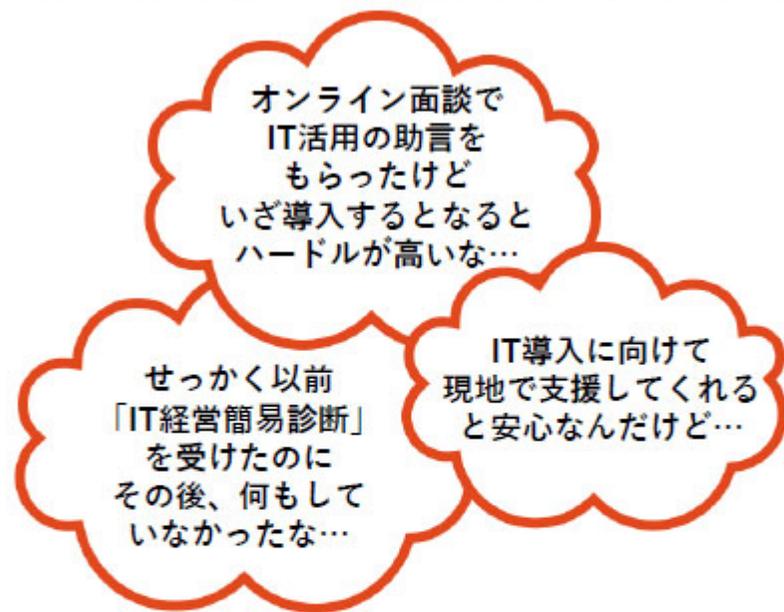
■対象者 ※以下の1、2に該当する中小企業

1. 事前に「IT経営サポートセンター」を利用して自社の経営課題・業務課題を整理し、ITの利活用によって課題の解決に本気で取り組みたい事業者。
2. 特に、顧客対応・営業支援業務（フロント業務）、総務・会計・人事、労務、在庫、物流等の間接業務（バックオフィス業務）について課題があり、ITの利活用によって改善したい事業者。

<https://www.smrj.go.jp/>



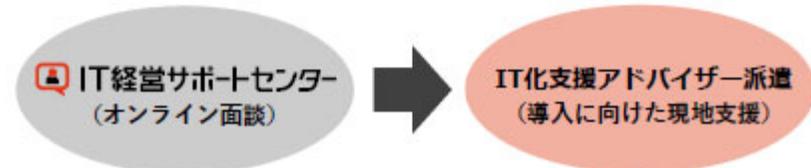
こんなお悩み・思いはありませんか？



IT化支援アドバイザー派遣事業とは

本事業では、事業者様が希望するITツールの実導入に向け、試用版による試行等を通じて課題解決の可能性を専門家と一緒に検証・確認することができます。現地でのサポートを最大3回・無料で行います※。

※無料提供は2023年度に開始したもののみ。2024年度以降は未定。



詳しくは裏面へ

IT化支援アドバイザー派遣事業 (仮称)

「IT経営サポートセンター」によるオンライン面談後、
専門家が事業者様のIT導入に向けた取り組みを現地サポート！

■ ご支援の流れ (内容は一例)



Be a Great Small.
中小機構

本事業では、事業者様が希望するITツールの実導入に向け、試用版による試行等を通じて課題解決の可能性を専門家と一緒に検証・確認することができます。現地でのサポートを最大3回・無料で行います*1。

*1 無料提供は2023年度に開始したもののみ。2024年度以降は未定です。 ※経営者もしくは意思決定権を有する方の同席が必須です。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部

宮城県仙台市青葉区一番町4丁目6番1号 仙台第一生命タワービル6F

Tel :022-399-6111(代表) ホームページ: <https://www.smrj.go.jp>

経営相談、ハンズオン支援、IT経営相談、SDGs・CN相談、生産工程スマート化診断、
事業継続力強化支援、事業再構築ハンズオン支援

企業支援部 企業支援課 Tel:022-716-1751 (直通)

事業再構築アドバイス(相談・助言)、スタートアップ・ベンチャー支援・T-Biz、
海外展開ハンズオン支援、ジェグテック、東北Good(s) Selection、マーケティング企画

企業支援部 支援推進課 Tel:022-399-9031 (直通)

事業承継円滑化支援、支援機関サポート、ITプラットフォーム(ここからアプリ)、IT戦略ナビ、
地域経済振興支援

地域・連携支援部 地域・連携支援課 Tel:022-399-9058 (直通)

小規模企業共済、経営セーフティ共済

地域・連携支援部 地域・連携推進課 Tel:022-393-4138 (直通)

中小企業者研修(管理者養成・分野別研修)、支援機関研修、サテライトゼミ

人材支援部/仙台校研修課 Tel:022-392-8811 (直通)